

ボランティア・市民活動情報誌

COMVO 7 月号

2018
vol. 228

communication × voluntary



子どもたちと対話しながら自分たちの力で人生を設計するノウハウを伝える
子どもデザイン教室の和田隆博代表理事(中央)

特集

子どもの生きる力を育む 「デザインで親と暮らせない子どもたちの自立支援を」

～特定非営利活動法人 子どもデザイン教室～

- 3 支援から交流へ 大阪のボランティアが被災地・東北で交流活動
- 5 西淀川区ボランティア・市民活動センター
ボランティア活動の魅力を発信!にしよどがわボランティアエキスポを開催!

デザインで親と暮らせない 子どもたちの自立支援を



パソコンを使用したデザインの技術を学びます

虐待、育児放棄などさまざまな理由で、親と暮らせない子どもたちが暮らす児童養護施設では、高校卒業後の進路は、進学率が一般に比べて低くなっています。^(※1)

子どもたちが、進学や夢を諦めてしまうことがないように人生設計をサポートするため2007(平成19)年からデザインという切り口で、創造的に、計画的に、対話的に将来を支援していくため、社会的養護が必要な子どもたちは受講料無料(一般有料)の子どもデザイン教室を始めました。

※1 厚生労働省 社会的養護の現状について(参考資料)平成29年12月より



一般家庭の子どもも有料でレッスンを受講

夢を諦める子どもたち

特定非営利活動法人 子どもデザイン教室代表理事の和田隆博さんは、グラフィックデザイナーとして広告の仕事をしていた2002(平成14)年、激務に倒れました。入院生活を続けていた時に、主治医から「これまでの40年を振り返り、これからの40年を生きなおしてみませんか」と助言を受け、何か世の中の役に立つことをしたいと考え始めました。

ちょうどその年から社会人講師として高校でデザインを教えるという、デザインの社会性を考えていました。デザインは自分で企画し実施して完成させるという作業プロセス。物事を組み立てていくメソッドを身に着けることは、人生を設計していくことにも役立つと考え、子どもたちにデザインを教えたいと、親友に相談しました。

しかし親友からは、習い事など通うこともままならず、進学や夢を諦めるしかない子どもたちがいることや、親から虐待を受ける子どもの話を聞かれました。和田さんは、近所の児童養護施設に飛び込み、改めて、親と暮らせない子どもたちの現状を知りました。

社会経験を通じて ビジネスの面白さを実感

現在、教室には、就学前から大学生まで約90人の子どもたちが市内外から通っています。うち約40人は、児童養護施設や母子生活支援施設、里親のもとで暮らす子どもたち。ほか約50人は有料で受講する一般家庭の子どもたちです。

レッスンは、お絵かきや工作の「造形工作レッスン」から自立支援に繋がる「人生デザインレッスン」まで、子どもたちの成長に合わせて4つから選択



デザインに必要なペンや画材は教室に準備しています

デザインに必要なペンや画材は教室に準備しています。さらには、子どもデザイン教室で、アルバイトとインターンをする「バイタリン生」としてレッスンのアシスタントや販売会のお手伝いなど実際に働く経験をしていきます。身近にいる彼ら彼女らの姿は、他の子どもたちにとって、憧れの存在になっています。

できます。小・中学生対象の「グッズデザインレッスン」では、自分が考えたキャラクターをピンバッチやアクセサリー、人形などに商品化して、3月の販売会で、自分で売ります。売上は全額子どもたちのおこづかいに。この社会経験を通して、ビジネスの面白さ、醍醐味を実感できます。

また、中学生・高校生対象の「デザイン国語研究レッスン」では、ものづくりから離れて、聞く、話す力をゲーム感覚で身に着け、自己肯定感を高めることを目標にしています。そして、総仕上げの「人生デザインレッスン」は、高校生・大学生が自分たちでご飯を作つて食事してからこれまで培ってきたデザインの組み立て方、コミュニケーション力など生かして、自分が将来どんな仕事に就くのか、自分の将来を設計する練習をしています。

子どもの人生に伴走する ボランティアと企業の 社会貢献活動

これらの活動を支えるのは、多くのボランティア。レッスン担当、食事担当、運輸担当、ホームページ担当など、特別な技術がなくても、子どもが好きということ、「親と暮らせない子どもたちの自立を支援したい」という和田さんの夢を応援したい人たちが繋がっています。また、子どもたちがつくるキャラクターを「こどキャラ」として販売し、売上の4分の1を子どもたちの口座へ。将来進学費用になるように考えています。企業は、社会貢献の一環として購入したキャラクターを、自社のパンフレットやラベルなどに活用しています。

「子どもたちは、勉強とビジネスが繋がっていません。勉強は生きていくうえで武器。社会に出るって

おもしろいな、お金という価値を集めた方が色々な別の価値に交換できて楽しいということを実感してほしい」と和田さん。「活動を始めたときは、小学校1年生だった子が高校2年生、幼稚園児だった子が中学2年生になりました。抱っこして寝ていた子が生意気なことを言っている」と11年間、子どもたちとずっと一緒に過ごし、長期的な支援をしてきました。将来、当事者たちがこの教室の担い手として運営する世代循環型の施設になることを願いつつ、子どもたちの人生に伴走しています。



オリジナルキャラクターはお菓子やグッズに

この活動を応援したいと思ったら…

『こどカフェ(活動説明会)』にご参加ください。

偶数月第4土曜日、午後1時半～3時半

事前にHPから要予約。 ※賛助会員費3,000円必要

親と暮らせない子どもたちを支援する

特定非営利活動法人 子どもデザイン教室

〒546-0035 東住吉区山坂4-5-1

TEL 06-6698-4351

■アクセス

地下鉄御堂筋線 西田辺駅2号出口東へ450m

支援から交流へ

大阪のボランティアが被災地・東北で交流活動



①



②



③

ボランティアバスで東北へ

5月2日から6日、大阪のボランティアが東日本大震災の被災地である宮城県を訪れ、仮設住宅や復興公営住宅の集会所で現地の人々と交流活動を行いました。

今回は大阪府生活協同組合連合会の呼びかけで、これまで東北の被災地でボランティア活動や復興支援活動に取り組んだボランティアと、初めて被災地を訪れる大学生協の学生や専門学生など27人が参加しました。

5月2日午後8時に大阪市中央区を出発、小雨の降る中、夜行バスは北上し、翌日午前10時ごろに宮城県石巻市仮設大橋団地に到着しました。

仮設住宅の閉所、新たな不安も

石巻市では震災から1年3ヶ月後には、最大7,153戸の応急仮設住宅が建てられ、16,788人が不安な生活を送っていました。「仮設大橋団地」でも最大で540戸にいた入居者が、現在は98戸143人まで減少し（5月1日現在）、その人たちも今年度中には復興公営住宅等に引越す予定です。

今回は仮設住宅で暮らす人たちに加え、仮設住宅から引越した人も大阪のボランティアが作ったこ焼きを楽

しみに多くの人が集まりました。交流が始まるとさっそくたこ焼き器を挟んで入居者と馴染みのボランティアと一緒に焼き始めます。子どもたちはパ

ールンで作った人形やチャンバラ遊びに夢中。放送芸術学院専門学校の卒業生と在校生からなるボーカルユニット Dream Sound Labo (Piece) (ラビビ)のミニコンサートが始まると年配の人もアップテンポ

な曲に合わせて身体を揺らします。「被災してからこの仮設住宅で支え合ってきた。離れ離れになるのは不安ですが、次のところでもコミュニティを大切にしていきたい」と同仮設住宅の山崎信哉元自治会長は話しました。

今も残る、津波の爪痕

2日目は、南三陸町の志津川東第二集会所での交流。その後、語り部の後藤一磨さんの案内で、津波被害の大きかった沿岸部に立ち残った「高野会館」を見学しました。震災当日、同会館では高齢者芸能発表会が開催されてい



ましたが、その揺れがあまりにも大きく長かったため館内にいた従業員たちが「大津波が来るはず」と判断し、芸能発表会に出席していた大勢の高齢者を上層階に避難させました。発災から40分 後には高さ15m以上の津波が直撃、その後も繰り返し津波が押し寄せましたが、327人が4階建ての建物の屋上に身を寄せ合い全員が助かりました。発災から7年経過した今も津波の爪痕が大きく残る建物を目の前にして、初めて被災地を訪れた学生たちも言葉を失いました。

その後、同じく津波で大きな被害を受けた女川町を視察し宿舎へ戻りました。バスの中では「今回初めて被災地に来て道路も建物もきれいだと感じていたけど、当時のままの建物を見て改めて津波の怖さを感じた」と学生ボランティアもそれぞれの受け止めをしていました。

復興は子どもたちの笑顔とともに

5月5日、東北での交流活動も最終日となったボランティアは、東松島市大曲浜で青い鯉のぼりを掲げました。「青い鯉のぼりプロジェクト」は、震災で亡くなっ

た子どもたちが天国で淋しくないようにと、毎年この日に合わせて支援団体や全国から駆けつけたボランティアが青色の鯉のぼりを掲げ、今年は大規模な大きさの青色の鯉のぼり約1,000匹が一斉に青空を泳ぎました。

午後には大崎市三本木にある「ソーシャルアカデミー 寺子屋 / 三本木」に移動。ここでは近隣の子どもや沿岸部で被災した子どもを中心に、古民家での生活や遊びを通じた寺子屋活動が行われています。寺子屋を主宰する高橋信行さんは、今回の交流活動でも現地コーディネーターとして3日間にわたり同行し、発災直後から現在までの人々の生活や、必要な支援についてボランティアに語りました。「東日本大震災では多くの人が亡くなり、深く傷ついた。とりわけ子どもたちは被災後の不安な気持ちを抱えながら我慢強く生きている。子どもたちが心から笑えるようになることが本当の復興につながる」と今後も寺子屋活動を続けます。

今回19歳から70歳までのボランティアが被災地を訪れ、現地の住民との交流を通して、震災への備えや復興に向けてできることを考えた5日間でした。

- ① 仮設大橋団地のみなさんと(石巻市)
- ② たこ焼き器を挟んで会話が弾みます
- ③ 女性にはパッチワークが人気
- ④ ラボビのミニコンサートで盛り上がる
- ⑤ 学生ボランティアが活躍
- ⑥ 当時のまま保存されている高野会館(南三陸町)
- ⑦ 語り部から説明を受けるボランティア
- ⑧ 整地された沿岸部を見つめるボランティア(女川町)
- ⑨ 青い鯉のぼりプロジェクト(東松島市)
- ⑩ ソーシャルアカデミー 寺子屋の前で(大崎市)

ボランティア活動の魅力を発信！

にしよどがわボランティアエキスポを開催！

～西淀川区ボランティア・市民活動センター～

ボランティアなど1,027人が集う

地域で活動する様々なボランティア活動の魅力を発信する「第1回にしよどがわボランティアエキスポ」が、5月13日西淀川区のもと歌島橋バスターミナルで開催されました。当日はあいにくの天気にも関わらず近隣の住民やボランティア

など1,027人

(主催者発表)が参加し、子ども食堂や絵本の読み聞かせなどのブースを見てまわり、ステージ発表を楽しみました。

区内の企業も協力

このイベントは西淀川区ボランティア・市民活動センターと同区地域振興会が主催し、区民のボランティア活動への参加とボランティア同士のつながりづくりを進めようと、



わいわい舞台コーナーでは子どもから高齢者まで一緒に楽しみました

区内のボランティアが中心となって実行委員会をつくり企画を考えました。実行委員が区内の企業などを訪問しイベントの趣旨を伝えることで、企業からは自社商品などの提供があり、それらはお楽しみ抽選会の景品として参加者に配られました。西淀川区社会福祉協議会・区地域振興会の大垣純一会長は「バスターミナルを活用することで、ここが地域住民のつながりづくりの拠点になれば」と空地活用にも積極的です。

出会うつながることで、

ボランティア活動を広げたい

西淀川区では約40のボランティアグループが活動しており、今回はその半数の団体がそれぞれの活動を紹介しました。にしよど子ども食堂「くるる」の南裕子さんは、「もつと多くの人に子ども食堂の活動を知ってもらいたい、他のボランティアさんとも知り合えるのも嬉しいです」と来場者に笑顔で応じていました。

同区ボランティア・市民活動センターの柏木宏運営委員長は「ボランティア同士が集まる機会はまだまだ多くない、自分たちの活動を伝え、知り合い、つながることで、区全体でボランティア活動を推進していくきっかけにしていきたい」と今後の展望を話しました。



参加者はスタンプラリーをしながらボランティア団体のブースを見学

問合せ

西淀川区ボランティア・市民活動センター
西淀川区千舟2-7-7 西淀川区在宅サービスセンターふくふく内
TEL 06-6478-2941 FAX 06-6478-2945

天神祭ごみゼロ大作戦 ボランティア募集!

日本三大祭りの一つ、天神祭で既存の清掃活動とは違うごみを出さないための活動「天神祭ごみゼロ大作戦」を、環境ボランティアの機会提供などに是非ご活用ください。

活 動 日 時

7月24日(火) 15時~24時
7月25日(水) 15時~24時

※各日①15~18時 ②17~20時 ③19~21時
④20~23時 ⑤23~24時のシフト制となります。
複数のシフトでの活動、すべての時間帯での活動も可能です。

ボランティア内容

- ①エコステーション運営
- ②露店へのリユース食器導入
- ③ごみの拾い歩き



申込み

【団体の場合】

- ◇申込み単位は1団体につき6人以上とします。
- ・ボランティア保険加入の関係により、メンバー全員の名簿の提出をお願いします。フォーマットはホームページからダウンロードしてください。
- ・活動中は1組5~6人のチームに分かれていただきますので、6人につき1人(12人なら2人)の代表者を選出していただきます。
- ・代表者を含む2人以上のメンバーの方は、主催者が指定するいずれかの「ボランティア説明会(6/24、6/28、6/29、7/1開催)」に必ず参加してください。複数名での参加も歓迎します。
- ・「ボランティア説明会」に参加が難しいメンバーの方がいる場合は、代表者が責任をもって、活動日までにボランティアメンバーに事前説明を行ってください。
- ・企業や団体など50人以上でのご参加の場合は、別途個別説明会の開催も対応いたします。事務局までお問い合わせください。

【個人の場合】

- ◇申し込み単位は個人とします。
- ・主催者が指定するいずれかの「ボランティア説明会」に必ず参加してください。
- その他条件など
- 支給品
 - ・スタッフウェア※報酬・交通費・食事の支給はありません
- 申込み条件
 - ・活動日現在、15歳以上の方
 - ・14歳以下で保護者とご一緒にご参加いただける方。高校生以下はシフト①、②の時間帯のみ参加可能です。また、個人・団体によらず、保護者の方の同意書を提出してください。フォーマットは、ホームページからダウンロードできます。

お問い合わせ先

天神祭ごみゼロ大作戦実行委員会

淀川区木川西1-4-20 サンフォレスト8F(NPO法人大阪府民環境会議内)
TEL:06-6195-9868 FAX:06-7632-4481 MAIL:info@tenjin-gomizero.jp

申し込みはこちら▶



高齢者施設にセラピー犬と飼い主と一緒に訪問します

NPPO法人心織は、2014(平成27)年からドックセラピーの普及とセラピストの養成をしています。現在、10頭のセラピー犬が飼い主と一緒に障がい者や高齢者の施設へ訪問。レクリエーションを通して利用者さんとふれ合う「動物介在活動」や、理学療法士など医療従事者のもとりハビリテーションをより効果的に行うことができるよう筋力アップや散歩用リードをもつて歩

セラピー犬は、人好きというところに加え、触られることにストレスを感じにくいなど適正があります。様々な触れ方や急に手足や耳、しっぽに触れてもびつくりしないよう、普段の生活で経験しておくことも大切です。愛犬のことをよく知っている飼い主と一緒にいることでセラピー犬(愛犬)は安心できます。心織では、その安心感が対象者に伝わると考え、家庭で一緒に暮らす愛犬であること、そして活動を楽しむことを大切にしています。「愛犬を通して相手の抱える背景、社会的問題にも目を向けてほしい」と代表田中理恵さんは考えています。

※QOL:生活の質または人生の質
ADL:日常生活動作

ボラ基金助成団体へ突撃取材

平成29年度大阪市ボランティア活動振興基金を助成した団体を紹介します。
福祉課題に取り組む調査研究支援事業

愛犬を通して社会と繋がる

NPO法人心織



代表田中理恵さん

行訓練など「動物介在療法」を行っています。

今回、助成金を活用して、高齢者のQOL・ADL(※)の維持・向上の効果を検証。利用者はリラックスした表情が見られたり、セラピー犬に触れようと腕を動かす、外部と積極的に関わるなど精神・機能面の両方に変化が見られました。

特定非営利活動法人

こころ心織

TEL:06-7161-3465
E-mail:cocorudog@gmail.com



○セラピー犬養成講座 第4期9月17日、10月8日、11月23日開催予定
◀詳しくは

ボランティア活動総合補償制度のご案内

(引受保険会社:三井住友海上火災保険株式会社)

大阪市ボランティア・市民活動センターと、
各区ボランティア・市民活動センター／ボランティアビューローでご加入いただけます。

ボランティア活動保険				
補償概要	ボランティアがボランティア活動中に、 ①偶然な事故によってケガをした場合の「傷害保険」、②第三者の身体や財物に損害を与えた場合の「賠償責任保険」			
加入対象	無償活動であること(交通費実費等は除く) 活動のための会議や往復途上も含む 自助活動は補償対象外			
保険期間	毎年4月1日から翌年3月31日まで (中途加入は受付日の翌日から)			
補償内容	Aプラン	Bプラン	Cプラン (天災担保)	
傷害 保険 部分	死亡保険金	死亡・ 後遺障害 保険金額 1,420万円	死亡・ 後遺障害 保険金額 2,090万円	死亡・ 後遺障害 保険金額 1,660万円
	後遺障害 保険金	6,500円 (日額)	11,000円 (日額)	6,500円 (日額)
	入院 保険金	入院保険金日額に手術の 種類に応じた倍率を乗じた額		
	手術 保険金	2,500円 (日額)	5,000円 (日額)	3,000円 (日額)
	通院 保険金	1事故につき5億円(限度額) 免責金額なし		
賠償 部分	対人 対物 共通	1事故につき5億円(限度額) 免責金額なし		
年間保険料 (1人)	300円	500円	600円	

ボランティア・市民活動行事保険(行事単位で加入)			
補償概要	ボランティア団体や各種の市民団体が主催する行事の参加中に、①参加者が偶然な事故によってケガをした場合の「傷害保険」、②主催者が第三者の身体や財物に損害を与えた場合の「賠償責任保険」の2つの制度がセットされています。		
加入対象	ボランティア団体や市民団体が主催する行事(スポーツ団体や自助団体も含む) ※氏名・住所・電話番号を記入した名簿の備え付けが必要です。		
保険期間	行事期間中 (開催日前日までに受付が必要)		
補償内容	I型(宿泊なし)	II型(宿泊あり)	
傷害 保険 部分	死亡保険金	500万円	400万円
	後遺障害 保険金	20~500万円	16~400万円
	入院保険金	3,000円(日額)	
	手術 保険金	入院保険金日額に手術の 種類に応じた倍率を乗じた額	
	通院保険金	2,000円(日額)	
賠償 部分	対人	1人あたり 最高1億円 1事故あたり 最高2億円	
	対物	1事故あたり 最高500万円	
保険料 (1人)		I型	II型
	A区分	30円 1泊2日	227円 4泊5日
	B区分	134円 2泊3日	279円 5泊6日
	C区分	262円 3泊4日	287円 6泊7日

※このほか、非営利・有償活動団体保険、移送中事故傷害保険もあります。

●お問合せ先

制度運営

大阪市ボランティア・市民活動センター

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター1F

TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618

取扱代理店

各種損害保険・生命保険取扱 島本保険事務所

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4-1-3 大阪センタービル2階(伊藤忠ビル)

TEL.06-6252-4520 FAX.06-6245-4686

安心して着られる縫製品づくりを

〜赤十字裁縫ボランティア〜

窓から大きく大阪城が見える大阪赤十字会館の二室で、15人ほどのボランティアが裁縫活動に取り組んでいます。赤十字裁縫ボランティアは、パジャマやエプロン、ナップサックなどを手づくりし、乳児院や高齢者施設に寄贈する活動を続けています。



メンバーは週に2回程度、大阪赤十字会館に集まり活動に励んでいます

病院でのボランティア活動をきっかけに

1975(昭和50)年、大阪赤十字会館の竣工をきっかけに裁縫活動が始まりました。それまで大阪赤十字病院奉仕団として、病院内でボランティア活動を行っていたメンバーを中心に、「子どもや病気のの人に優しい寝間着を作りたい」と同会館の一室にミシンを置き活動をスタート。現在は、病院でのボランティア活動経験が豊富な人や、家庭洋裁が好きだった人、初めてボランティア活動を始めた人など約40人が、大阪赤十字病院奉仕団裁縫部(ローズ)、大阪赤十字病院奉仕団OB(なでしこ)、個人グループプリーダー、NPO労力ネットワーク銀行リーダーの4つのグループに分かれて活動しています。

ひとつの工程に心を込めて

縫製にはいくつかの手順があります。まずは生地にあった品物

を考えます。それから型紙をあて裁断し、一着分ずつセットしていきます。それをミシンで縫い合わせ、ゴム入れやボタンホールを作ります。丁寧にアイロンをかけ、最後に折れた針などが付いていないかしっかり検品し完成です。ボランティアの一人は洋裁が好きでこの活動を始めたが、メンバー同士で色々と教えてもらいながら作業することで、裁縫が上達していくことも嬉しいと話します。

年末の施設訪問

1年間心をこめて縫製したパジャマやニット帽などは、赤十字ボランティアフェスティバルのチャリティバザーで販売されるほか、毎年12月に府内の乳児院や高齢者施設に贈られます。メンバーが寄贈先の施設に向き、クリスマスプレゼントとして直接子どもたちに縫製品を手渡します。子どもの肌着は木綿など肌に



部屋には十数台のミシンが並びます

優しい素材を心がけ、高齢者のパジャマは着脱しやすいよう、前開きや片開きになるように工夫しています。「手間はかかるけど、喜んでもらえることが何より嬉しい」と40年以上も活動に参加しているボランティアさんは目を細めます。



生地にあわせてボールやトートバック、毛糸のマフラーやニット帽なども作っています

これからも安心して着られるものを

現在は、企業から提供のあった生地を使い、赤十字防災ボランティアが行うイベント等で用いる防災エプロンを作成しています。子ども用は明るいミントグリーン、大人用は落ち着いた紺色で、腰ひもは結びやすいよう結び目が前にくるようになっています。「着て喜ばれるもの、使って嬉しいものを自由に発想し、カタチにしていけるのが楽しい」「品物には作り手の個性も出るけど、それが手づくりの良いところ」とメンバーはやりがいと誇りを帯びて活動に臨んでいます。

問合せ 日本赤十字社大阪支部 青少年・ボランティア課
〒540-0008 中央区大手前2-1-7
TEL: 06-6943-0708

パジャマや肌着に使える優しい素材生地の寄贈をお待ちしています。

情報マーケット

Information Market

「参加してみたい!」と思ったり、
内容について聞いてみたいことがあれば、
各団体まで直接「コンボを見て」とお問い合わせください。



情報マーケット掲載団体に 問合せするのに便利なQRコード

- 1 気になる情報があれば、スマホで
下記QRコードをバーコードリーダー
で読み取る
- 2 掲載団体の情報一覧を
ダウンロード!!
- 3 問合せ先、
団体ホームページなどに
アクセスできます!



④貸出絵本の選書、発送作業

特定非営利活動法人 てんやく絵本ふれあい文庫 **平日**
http://tenyaku-ehon.la.coocon.jp **緑** **下**

見える人も見えない人も一緒に絵本を楽しむ環境を整えたいという思いから、
全国の盲学校や個人宅に点訳絵本を無償で貸し出しています。点字の経験は不問。
絵本に興味があり、選書、発送を手伝える方は連絡ください!

日 程 金曜日 月2回以上
午後1時30分～4時30分

場 所 大阪市西区江戸堀1-25-35 近商ビル2F
地下鉄四ツ橋線 肥後橋駅 徒歩5分

人数・条件 ■特になし

申込方法 電話・FAX・ハガキ(水～土曜 午後1時30分～4時30分)

お問合せ先▶ TEL/06-6444-0133 FAX/06-6444-0133
〒530-0002 西区江戸堀1-25-35 近商ビル2F (担当:岩田)

①ボランティア登録募集

地域活動支援センターフォーエバー～いつまでも～ **平日** **土日祝**
https://www.facebook.com/地域活動支援センターforever/ **緑** **下** **車**

私たちは、地域で生活する障がい者同士がメンバー自身で企画を立て数々のイ
ベントを実行しています。その際に車いすを押すなどの介助のお手伝いをして頂ける
ボランティアさんを募集します。

日 程 不定期開催
午前9時～午後4時

場 所 地域活動支援センター フォーエバー～いつまでも～
(東成区大今里南2-7-17)

人数・条件 ■数人
交通費:支給(上限1,000円まで)
昼食代:500円支給

申込方法 電話/FAX/メール

お問合せ先▶ TEL/06-6975-7066 FAX/06-6975-7088
Eメール ciloh_forever_itsumademo@yahoo.co.jp (担当:掛)

⑤市岡日本語教室新規ボランティア募集

市岡日本語教室 **平日**
https://ichioka-nihongo.org/ **緑** **下**

楽しく外国人と交流しませんか。日本語教師の資格はいりません。
外国語ができなくても大丈夫です。外国人学習者と楽しくおしゃべ
りしてください。

日 程 毎週金曜日 午後7時～8時30分

場 所 港区民センター
港区弁天2-1-5
JR・地下鉄「弁天町」駅から西へ徒歩5分

人数・条件 ■どなたでも

申込方法 電話・Eメール

お問合せ先▶ TEL/080-3846-2581
Eメール info@ichioka-nihongo.org (担当:札葉)

②「第30回 なにわ淀川花火大会」ボランティア募集!!

一般社団法人 大阪青年会議所 **土日祝**
http://www.osaka-jc.or.jp/ **単** **下**

「なにわ淀川花火大会」は大阪の市民ボランティアや企業の協力で開催している日
本で一番大きな花火大会です。今年も多くの皆様のボランティアへのご参加をお
待ち致しております。

日 程 大会当日ボランティア 8/4(土)午後2時～10時終了予定
翌日清掃ボランティア 8/5(日)午前8時30分～11時終了予定

場 所 淀川堤防一帯
1.右岸会場【最寄駅 阪急 十三駅】新御堂筋より淀川大橋までの淀川河川敷
2.左岸会場【最寄駅 阪急 中津駅】十三大橋より淀川大橋までの淀川河川敷

人数・条件 ■当日大会ボランティア 8/4(土)夕食:支給、交通費:支給なし
翌日清掃ボランティア 8/5(日)道具は、当日配布。交通費:支給なし。

申込方法 電話・FAX・Eメール

お問合せ先▶ TEL/06-6575-5161 FAX/06-6575-5163
Eメール yodogawa.hanabi2018@gmail.com (担当:麻生)

⑥地域共生社会、在宅ケアをともに進めていく実践者の集い。 一緒に盛りあげてほしいです。

在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク第24回全国の集い in OSAKA 2018 **土日祝**
http://tsudoi-2018-osaka.com/ **単** **下** **車**

先駆的に在宅ケアを進めてきた診療所、市民、約2,000人が全国から集い、地域共生社会
を目指しともに考えます。現場で活躍している多くの実践者と出会えます。

日 程 9/23(日)24(月・祝)
[午前]午前9時～午後1時30分 [午後]午後1時30分～6時
[1日通し]午前9時～午後6時
午前のみ、午後のみ、1日通し、1日のみ、両日活動可能時間帯を教えてください。

場 所 大阪国際交流センター
天王寺区上本町8-2-6 近鉄大阪上本町駅、地下鉄谷町9丁目駅徒歩7分

人数・条件 ■募集250人
①交通費:半日ボランティア500円 1日ボランティア1,000円
②食 事:1日ボランティアのみ弁当支給
③ボランティア参加した方でプログラムに参加希望者は、半日ボランティア参加→半日プログラム
参加の権利付与。1日ボランティア参加→1日プログラム参加の権利付与

申込方法 電話・FAX・Eメール

お問合せ先▶ (全国の集い in Osaka 2018 大阪事務局)
TEL/06-6136-7391 FAX/06-6136-7399
Eメール info@tsudoi-2018-osaka.com (担当:鎌田)

③ボランティアさんを募集しています!

大阪鉄道病院 **平日**
http://www.jrosakahosp.jp **緑** **下**

昨年11月に緩和ケア病棟が開棟しました。私たちと一緒に、患者さんのサポートを
していただけますか?緩和ケア病棟では特に、アロマテラピー、庭園植木の手入れ
をしていただける方を募集しております。

日 程 毎週月～金曜日 時間は相談に応じます。
午前9時～午後5時

場 所 大阪鉄道病院
阿倍野区松崎町1-2-22
JR天王寺駅・地下鉄天王寺駅・近鉄大阪阿部野橋駅より東へ徒歩約3分

人数・条件 ■18歳以上(高校生不可)

申込方法 電話

お問合せ先▶ TEL/06-6628-2221 FAX/06-6628-4707
(担当:磯山)



◀ 飼い主間の交流と相互扶助をめざしてイベントを開催しています

Voice

ここでは、過去に“情報マーケット”で掲載した団体の声をご紹介します！



団体名 NPO法人 ペットライフネット



活動内容についておしえてください。

ペットと暮らすシニア世代を支援する活動をおこなっています。交流の機会と場づくりやシニアに適したペットの見分け方、もしもの時に里子にだすためのしつけ、老犬・老猫の看取りなどをセミナー等でアピールしています。誰もが安心してペットと暮らせるまちづくりを実現するため、啓発活動を行っています。



情報マーケットに掲載したきっかけは？

ひとりでも多くの方に活動を知ってほしいと思っていたやさき、COMVOと出会いました。COMVOに投稿ができることを知り、イベントやセミナーの集客に活用させていただきました。



反響はいかがでしたか？

掲載されますと、必ず2~3人の方からの問い合わせがあり、ご参加いただいています。

⑪ 2018年度「動物行政の現状と課題」

NPO法人 ペットライフネット

<http://petlifenet.org/>

土日祝

単

初

今年も、「動物行政の現状と課題」と題して大阪府議、大阪市議の方々とともに勉強会を開催します。動物愛護のために国や府、市は、そして私たちは何ができるのか、何ができないのかを考え、学びます。

日 程 7/1(日)午後1時30分~4時30分

場 所 大阪市立総合生涯学習センター(第一研修室)

人数・条件 ■参加費無料(要事前申込)

申込方法 電話・FAX・Eメール・ホームページ

お問合せ先▶ TEL/06-6541-5733 FAX/06-6541-5722
Eメール wanyao@petlifenet.org (担当:吉本)

⑨ あすわ〜く1泊旅行

あすわ〜く

<https://aswork.net/>

平日 土日祝

単

初

外出が困難な障がいをもった皆さんに、集団での旅行の中で日常ではできない体験や、ボランティアの方々との交流を経験してもらいたい。

日 程 9/7(金)午前8時30分~9/8(土)午後5時頃
1泊2日(時間については若干の変更があります。)

場 所 集合場所:あすわ〜く(東淀川区豊新1-3-3)

人数・条件 ■5人
当施設に毎日通って、仕事をしている障がいのあるなかまの、年に一度の旅行の付き添いや、介助(入浴・お手洗い・着替えなど)のお手伝いをお願いします。
無料:当施設までの往復の交通費のみご負担いただけます。

申込方法 電話

お問合せ先▶ TEL/06-6815-7166 FAX/06-6815-0255
Eメール aswork@theia.ocn.ne.jp (担当:山内・樋口)

⑩ おしゃべりカフェ

NPO法人 kunこころの宮

<http://kun-kokoronomiya.org>

土日祝

単

初

いろんなことを話したい、きいてみたい子どものこと。仕事のこと。自分のこと。なぜかわからないけどモヤモヤしている。日頃感じていることや考えていることを、おしゃべりませんか？

日 程 毎月第4土曜日
①午後1時~2時30分(女性専用時間)
②午後2時30分~4時(男女対象時間)

場 所 kunこころの宮総合カレッジ 谷町教室
中央区谷町7丁目2-2 新谷町第1ビル306号

人数・条件 ■参加費:500円(コーヒー・紅茶・緑茶付)

申込方法 電話・Eメール

お問合せ先▶ TEL/06-6777-6156
Eメール info@kun-kokoronomiya.org (担当:長原)

⑦ デイサービスボランティア募集

日本橋地域在宅サービスステーション

<http://www.aizenen.or.jp/kaigo/nihonbashi>

平日

単

初

定期で援助いただける方歓迎。都合のよい曜日、都合のよい時間帯で結構です。

日 程 月曜日~金曜日 午前10時から午後4時

場 所 浪速区恵美須町2-1-4(新世界 通天閣横)

人数・条件 ■募集若干名
昼食支給
交通費:支給無し

申込方法 電話・Eメール

お問合せ先▶ TEL/06-6632-2340 FAX/06-6630-3336
Eメール spqx9bn9@cap.ocn.ne.jp (担当:徳山)

⑧ 楽しい居場所をつくりましょう

おりおのワイワイ食堂

子どもたちの居場所として2年間の実績。より安定した運営をめざして、遊び相手、調理、後片づけなどのボランティアスタッフを募集します。

土日祝

単

初

日 程 毎月第1土曜日、第3土曜日
午前10時~午後2時

場 所 あい介護サービス内(住吉区遠里小野1-12-16)
南海高野線「我孫子前」駅 改札口北側

人数・条件 ■2~3名
交通費:実費支給
参加費:300円(昼食代として)

申込方法 電話

お問合せ先▶ TEL/080-3114-5858
(担当:阪野)

⑬子どものための心理的応急処置1日研修

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 土日祝
<http://www.savechildren.or.jp/> 単 V
 災害などの緊急時、あなたはどのように子どもに声をかけますか? 「子どものための心理的応急処置」は、災害時などに、ストレスを抱えた子どもの心を傷つけないように対応するためのマニュアルです。
日 程 6/30(土) 午前10時～午後5時
場 所 ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)4階 大会議室3 中央区大手前1-3-49(最寄駅:天満橋)
人数・条件 ■定員:40名(先着順) 参加費:3,000円/一般、1,000円/学生
申込方法 電話・Eメール
お問合せ先 ▶ TEL/06-6232-7000
 Eメール japan.osakaoffice@savethechildren.org(担当:伊藤)

⑭子どもの声を聴ける人になろう～チャイルドライン(子ども専用電話)ボランティア養成講座

公益社団法人 子ども情報研究センター 土日祝
<http://www.kojoken.jp/> 継 V
 チャイルドラインは18歳までの子どもが、どんなことでも安心して話すことのできる電話です。聴くことの大切さを学び、ボランティア活動を楽しめますか?
日 程 6/30(土)午後 7/1(日)午後 7/8(日)午前・午後 7/22(日)午後 7/29(日)午後
 詳しい日程はHP (<http://www.kojoken.jp/>) をご覧ください
場 所 HRCビル(港区波除4-1-37)
人数・条件 ■一般 10,000円 ※講座は全日受講できる方(定員40人) コース(～25歳) 5,000円
申込方法 FAX・Eメール
お問合せ先 ▶ TEL/06-4708-7087 FAX/06-4394-8501
 Eメール info@kojoken.jp (担当:今橋・喜多)

⑮大阪京橋相撲甚句健康教室の見学会

一般社団法人大阪相撲甚句会 平日 土日祝
<https://blogs.yahoo.co.jp/tamura0669302316/41049640.html> 単 V
 大相撲と共に伝わる相撲甚句の唄い方や作り方を体験しませんか?
日 程 毎月、日曜日2回(午後1時～3時)、金曜日2回(午後6時～8時)
 ご来場の場合は、ご連絡をお願いします。
場 所 フレオ大阪東(大阪市立男女共同参画センター東部館)住所:城東区鶴野西2-1-21 最寄駅:JR京橋駅南口から南へ600m・地下鉄長堀鶴見緑地線大阪ビジネスパーク駅4番出口から東へ750m
人数・条件 ■見学会は費用負担はありません。
申込方法 電話・FAX・Eメール
お問合せ先 ▶ TEL/090-6752-4661 FAX/06-6930-2316
 Eメール jinku@ac.auone-net.jp (担当:田村)

⑯知的障がい者ガイドヘルパー養成講座

東住吉区ボランティア・市民活動センター 平日 土日祝
<http://www.higashisumiyoshikusakyoku.or.jp> 継 V
 知的障がい者ガイドヘルパーとは、知的障がい者の外出に同行する活動です。本講座を修了すると、知的障がい者ガイドヘルパーとして従事することができます。みなさまのご応募お待ちしております!
日 程 講座:8/2(木)午前9時45分～午後4時10分 8/3(金)午前9時30分～午後5時 8/28(火)午前10時～11時30分
 実習:8/6(月)～8/24(金)のうち平日で3時間 8/4(土)～8/26(日)のうち土日またはお盆期間(8/11～8/15)で5時間
場 所 講座:東住吉区在宅サービスセンター(さわやかセンター)東住吉区田辺2-10-18 実習:区内施設
人数・条件 ■定員20人(先着順) テキスト代:2,600円 対象:18歳以上の方で障がい者福祉に関心があり、講座の全スケジュールを休まずに受講できる方
申込方法 FAX・Eメール・窓口へ持参・HPより申込書ダウンロード
お問合せ先 ▶ TEL/06-6628-2020 FAX/06-6622-8973
 Eメール tiikikatudou@higashisumiyoshikusakyoku.or.jp (担当:井上)

⑫ちょっと心をはかるくしませんか?生きづらい人の語り場です。

イキル応援プロジェクト LIFE POWER 土日祝
単 V
 人間関係のしんどさ、生きづらさをちょっと下ろしませんか?同じ思いをして、つながりを求めている人たちの交流の場です。出入りも服装も全て自由です。お気軽にご参加ください。
日 程 7/8(日) 午後1時～4時
場 所 スペインバル「La Olivr」(中央区安土町1-2-1)
人数・条件 ■定員:12人 参加費:300円「ワンドリンク制」
申込方法 不要
お問合せ先 ▶ TEL/080-1002-9164
 Eメール hnozaki1124@infoseek.jp (担当:野崎)

⑬『とさぼりサマーセミナー』参加者募集!!

とさぼりサマーセミナー2018事務局(大阪YMCA内) 土日祝
<http://www.tosaboriyymca.com> 単 V
 「家族で楽しい街の学校」をテーマに、工作や実験教室等の学んで遊べる講座がいっぱい!市民ボランティアの先生たちとついに、夏休みの一日を楽しく過ごしましょう!(こどものみで参加できる講座もあります)
日 程 7/22(日) 午前10時30分～12時30分/午後1時30分～3時30分
場 所 土佐堀YMCA(大阪YMCA) 大阪市西区土佐堀1-5-6 地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅3番出口を出て西へ徒歩6分
人数・条件 ■講座によって参加対象学年が異なります。
申込方法 ホームページから申込フォーム入力<6/30(土)午前10時より申込開始>
お問合せ先 ▶ TEL/06-6441-0894 FAX/06-6445-0297
 Eメール tosabori-kaain@osakaymca.org (担当:貝)

⑭マルチメディアデジイ図書をつくってみよう!使ってみよう!

DAISYグループふじつぼ 土日祝
継 V
 マルチメディアデジイ図書とは、文章や画像を音声とリンクさせたデジタル図書です。「読み」に困難がある人たちの支援ツールとして注目されています。作り方を覚えて、必要としている子どもたちに届けませんか?
日 程 製作講習会:7/14(土)・7/15(日)午前10時～午後4時30分 読書体験会:8/18(土)午前10時30分～午後4時30分
場 所 製作講習会:大阪市立総合生涯学習センター メディア研修室 北区梅田1-2-2-500 大阪駅前第2ビル 5階 読書体験会:大阪市立中央図書館 5階中会議室 西区北堀江4-3-2
人数・条件 ■定員:15人 講習会と体験会の3日間すべてに参加できる人 参加費:1,000円(テキスト代として)
申込方法 FAX・Eメール 必要項目:①参加者氏名 ②住所 ③電話番号 ④メールアドレス
お問合せ先 ▶ TEL/06-6539-3304 FAX/06-6956-9166
 Eメール fujitubo.daisy@gmail.com (担当:横山)

⑮レクリエーション・スキルアップセミナーWS

特定非営利活動法人 ILDPプロジェクト 土日祝
単 V
 到来!人生100年時代“見直そう!活用しよう!レクリエーション!!”楽しく・元気で・笑顔で生きるには、高齢者だけでなく全ての人の願いです。スキルアップして、自分らしく輝いてこの願いを支援しましょう!
日 程 7/21(土)午後2時～4時(開場:午後1時30分) ※今後の予定:9/22(土)、11/24(土)
 講師:公益財団法人日本レクリエーション協会公認レクリエーションコーディネーター 白神啓子・加藤佳津子
場 所 フレオ大阪中央 3階 研修室2(天王寺区上汐5-6-25) 地下鉄谷町線「四天王寺前汐陽ヶ丘駅」下車 ※会場を変更する場合はご連絡します。
人数・条件 ■どなたでも 参加費:1,000円(材料費・資料代を含む)
申込方法 FAX・Eメール
お問合せ先 ▶ TEL/090-7354-2760 FAX/06-6717-2967
 Eメール ildd@crux.ocn.ne.jp (担当:加藤)

23 平成30年度 あしたのまち・くらしづくり活動賞 レポート募集
 ~みなさんの地域づくりの“元気の素”をふるってご応募ください!~

公益財団法人 あしたの日本を創る協会
<http://www.ashita.or.jp>
 地域が直面するさまざまな課題を自らの手で解決して、住み良い地域社会の創造をめざし、独自の発想により全国各地で活動に取り組んでいる地域活動団体等の活動の経験や知恵などのストーリーをレポートとしてぜひお寄せください。※表彰:内閣総理大臣賞(副賞20万円)、内閣官房長官賞(同10万円)、総務大臣賞(同10万円)等
対象団体 地域住民が自主的に結成し運営している地域活動団体やNPO法人、自治会・町内会、または、地域活動団体と連携して地域づくりに取り組む企業、商店街、学校等。活動に2年以上取り組み、大きな成果をあげて活動している団体
対象分野 保健・医療・福祉、社会教育、まちづくり、学術・文化・芸術・スポーツ、環境保全、地域防犯、子どもの健全育成、地域産業の振興、震災復興、その他
申請方法 HPより応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、レポート(2,000字程度)・写真等を添えてメールまたは郵送してください 締切:7/4(水)必着
お問合せ先 ▶ 〒113-0033 東京都文京区本郷2-4-7 大成堂ビル4階
 TEL/03-6240-0778 FAX/03-6240-0779
 Eメール ashita@ashita.or.jp

24 第11回 ソーシャルビジネスプランコンペ募集

認定NPO法人 大阪NPOセンター
<http://osakanpo-center.com/compe.php>
 ソーシャルビジネスの新しい取組を応援します!賞金はもちろんのこと、選考過程でブラッシュアップができます。今年はオリジナルの賞のほか、企業や行政からの賞もたくさん!「社会課題を解決したい」「アイデアを実現に近づきたい」という熱い思いをお持ちのみなさんからのご応募お待ちしております!
助成対象 新たなソーシャルビジネスのプランをお持ちの方、新たなソーシャルビジネスに挑戦されている方。すべての選考スケジュールに参加可能であること。
 *事業主体者の法人や分野は問いません。
助成金額 助成金総額:500,000円
 (グランプリ 300,000円他)
申請方法 ホームページより申請書をダウンロードし必要事項を記入の上、郵送または持参にてお申込みください
 応募要件等詳細はホームページをご覧ください 締切:7/13(金)
お問合せ先 ▶ TEL/06-6223-3303 FAX/06-6223-3306
 (担当:高見・佐川)

25 平成30年度 社会福祉助成金

一般財団法人 松翁会 事務局 社会福祉事業部 助成係
http://shouohkai.or.jp/zaidanhojin_shououkai/
 当会は社会福祉に関する諸活動に対して援助を行い、もってわが国社会福祉の向上に寄与することを目的とし、社会福祉に関する事業に対して助成を行います。
 (助成総額700万円以内 1件につき60万円を限度とする 応募最低額10万円)
助成対象 法人・団体であること(法人格をもたないものでも、特に助成することにより効果が期待できる場合は対象となる)但し、個人および営利法人等は対象外
助成対象 ①障がい者の福祉向上案件、および難病案件、虐待防止案件
 ②明確な企画(目的、内容、資金使途等)に基づく事業で具体的な計画を持つ
 ③推進体制が確立し、自己資金の調達の努力をしている
 ④先駆的、開拓的の事業を優先
申請方法 HPから申込書をダウンロードし記入のうえ、必要書類等を添付し、送付のこと
 ※必ずHPで詳細等を参照のうえ、応募のこと 締切:7/31(火)必着
お問合せ先 ▶ 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-5-5 大手町タワー地下1階
 TEL/03-3201-3225

20 みやこじま夏休み子どもシアター


都島区社会福祉協議会
<http://www.miyakorin.com/>
 今年も「キッズシアターかみふうせん」がやって来よう!
 みんなで楽しいひとときを過ごしましょう! (内容:人形劇、ペープサートなど)
日 程 7/28(土)午前10時30分~12時30分
場 所 都島区民センター 1階ホール
人数・条件 ■定員:150組 参加費:無料
 対象:乳幼児・児童とその保護者
申込方法 不要 当日先着順
お問合せ先 ▶ TEL/06-6929-9500 FAX/06-6929-9504
 Eメール miyvc@miyakorin.com (担当:紙屋)

21 堺市旧五個荘村の長尾街道を中心としたバス旅行会

古伝承を訪ねる会
 堺市北区の旧五個荘村の長尾街道を中心として忘れてかけている旧跡を巡ります。
日 程 7/21(土) 雨天強行
 午前8時25分から午後6時10分
 案内は堺観光協会の高三寿次郎氏と北区中村在住の寺内幸雄氏
場 所 天王寺公園南西(びっくりにんぎゃー前)午前8時25分集合
 帰りは北花田駅午後6時ごろ 中百舌鳥駅午後6時10分ごろ解散予定
人数・条件 ■26人単位のバス旅行会 昼食(1,000円)を支給
 参加費:5,000円 入会金なし
備 考 参加費振込前納は郵貯または、三菱UFJ/振込 実施7日前のキャンセルは全額返却 一週間以内のキャンセルは4,000円返却
お問合せ先 ▶ TEL/06-6702-4757 FAX/06-6702-4757
 Eメール y_umemoto_at_tax@oct.zaq.ne.jp (担当:梅本)

22 研修&授業を地域にお届けします!
 ~地域出前セミナー実施団体募集~

クレオ大阪(大阪市立男女共同参画センター) 平日 土日祝
<http://www.creo-osaka.or.jp/>
 大阪市内の地域団体・学校・企業等へ、男女共同参画にかかわる研修および授業を「届ける」プログラムです。 ※PTAの研修・町会の会合・グループの勉強会でもOK!
日 程 平成31年3月末日まで
場 所 大阪市内の施設(申込者指定の会場、または区民センターなど)
人数・条件 ■費用:無料 各区2団体(先着順) 原則5~50人
 ※テーマは「女性と防災・減災」「メンタルヘルス」「子育て」「デートDV防止」などで、内容は入門編になります。
申込方法 電話・FAX・来所にて ※申込書はHPよりダウンロード可能です
お問合せ先 ▶ TEL/06-6770-7200 FAX/06-6770-7705
 (担当:桑村・村上)




情報求む!

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしております。どしどしお寄せください。

申し込み方法 専用フォームから情報をお寄せください。
<https://ws.formzu.net/sfgen/553168917/>

申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
 天王寺区東高津町12-10 TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618 Eメール ocvic@osakacity-vnet.or.jp (担当:濱辺・縄)
 ※本誌の発行日は8月と1月を除く毎月15日です。募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします。
 (例:平成30年9月15日発行号(10月号)に掲載希望の場合は7月末日まで)



おことわり

※受付・掲載の有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み=掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの返信についてお尋ねする場合があります。

～海外から日本へ～
**大阪の高校に学ぶ
 若者たち Vol.22**

season **3**

プロフィール

BAGAMBOULA ALEX
 (バガンブラ アレックス)
 (ルーツ:コンゴ/日本生まれ)
 府立高校3年生
 好きなこと:音楽を聴くこと



海外から来日、帰国して学ぶ高校生。
 複眼的な視野をもつ彼らが毎号1人ずつ登場します。
 (協力: NPO法人 おおさかこども多文化センター)

こんにちは、僕の名前はアレックスです。日本で生まれ育ちました。学校ではクラスの委員長や体育委員などを頑張っています。部活動では「多文化研究会」に所属しており外国にルーツを持つ生徒が集まって一緒に各国の料理を作ったり、他の大阪府の高校と交流したり、近くの小学校や支援学校で自分の国についてのプレゼンをしたりと精力的に活動しています。趣味が音楽を聴くことで、ダンス部にも所属

しています。他には全国在日外国人生徒交流会に一年のときから参加し、いろいろなルーツの同世代の子や先輩方と話をしてお互いの意見や考えを話し合う機会がありました。こういう考えがあるんだな、と今まで自分が気づけなかったことなど色々と考えさせられ刺激を受けました。3年生になり、これから進路を確定していかないといけない時期になっています。将来の事はまだはっきりしていませんが、高校で学んだ事や自分が日本で生まれ育った外国人というアイデンティティを大切に、頑張っていきたいと思っています。

身近なところで体を動かしてみませんか？
 \あなたが好きなことや得意なことを活かせる場合があります/

活動すると、「介護予防ポイント」がたまります
 ポイントは、活動時間に応じて交付され、
1ポイント 100円
 で換金できます！
 換金上限は年間80ポイントまで



65歳以上の方 募集中

- 健康のために何か始めてみたい
- 空いている時間を利用して何かをしたい
- 自分のできることで誰かの役に立ちたい

「ちょっとしたお手伝い」
 やっていただける方を募集しています!

介護保険施設で…

- 施設利用者の話し相手
- 園芸(草木の手入れ)
- 演芸の披露(楽器的演奏、歌など)

保育所など…

- 行事、遊びなどの補助
- 登降園時の見守り
- 園庭の手入れ など 他にもいろいろ!



【登録時研修日程 6月～8月】

開催日時	開催場所	開催日時	開催場所
6月19日(火)午前10時～正午	城東区在宅サービスセンター(ゆうゆう)	7月23日(月)午後2時～4時	西区在宅サービスセンター(にしながほり)
6月25日(月)午後2時～4時	鶴見区民センター	7月25日(水)午後1時30分～3時30分	東住吉区老人福祉センター
6月29日(金)午後2時～4時	北区北老人福祉センター	8月3日(金)午後2時～4時	大正区在宅サービスステーション(大正区ふれあい福祉センター)
7月3日(火)午前10時30分～午後0時30分	西淀川区老人福祉センター	8月7日(火)午後2時～4時	東淀川区区民会館
7月5日(木)午後2時～4時	港区老人福祉センター	8月21日(火)午後1時～3時	住吉区老人福祉センター
7月12日(木)午後2時～4時	大阪市立男女共同参画センター西部館(フレオ大阪西)	8月29日(水)午後2時～4時	旭区在宅サービスセンター(あったかセンター)
7月19日(木)午前10時～正午	中央区在宅サービスセンター(ふれあいセンターもも)	8月31日(金)午前10時～正午	大阪市立社会福祉センター

※受講を希望される方は、お電話等で **お問い合わせ・申込先** までにお申し込みください。※登録時研修には①筆記用具 ②印鑑(みとめ印) ③介護保険被保険者証をお持ちください。
 ※介護予防ポイント事業への参加には、登録時研修を受講し、参加登録を行う必要があります。ご参加お待ちしております。

お問い合わせ
 申 込 先

大阪市社会福祉協議会 介護予防ポイント事業担当

TEL.06-6765-5610 FAX.06-6765-3512
 ホームページ <http://www.osaka-sishakyo.jp/lp/kypoint/>

アンケートにご協力ください!

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見や感想をお聞かせください。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。

1. あなたのボランティア活動歴を教えてください。
ア なし イ 1年未満 ウ 1～4年 エ 5～9年 オ 10年以上
2. あると答えた人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
3. これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
ア ある イ なし ウ まだ迷っている(その理由も教えてください)
4. 今月号で良かった記事は何ページですか? その理由も教えてください。
5. 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
6. その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXかハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。
※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>



(宛先)

大阪市ボランティア・市民活動センター
「読者アンケート 情報誌COMVO228号係」まで

(住所は下記参照)

※締め切り 2018年7月10日(消印有効)
※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。
※お預かりした個人情報、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。

編集後記

今号の情報誌COMVO(コンボ)では、親と暮らせない子どもたちの自立支援をするNPOを取材しました。“人生をデザインする”という新たな視点から、「遊び×学び×レッスン」による養育や学資という踏み込んだ支援。11年間の活動を振り返る代表の胸元には、教室に通う子どもがデザインしたという美しいペンダントが光ります。「生きなおし」という医者からの助言、親友からのアドバイス、福祉施設や企業との連携、そして多くのボランティアとの出会いが子どもたちの夢を支えています。

COMVOのバックナンバー
電子BOOK版COMVO
みてね!



ボランティア・市民活動情報誌 コンボ 「COMVO」へ広告募集!

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO。

大阪のボランティア・市民活動情報が満載!市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

- 体裁・発行・部数
B5判 16頁(フルカラー)年10回発行
- 広告申し込み締切
発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申込ください)
- 申込方法
下記まで問合せください

赤枠が
本文 1/5 ページ
サイズと同じです



広告料金(税込)

掲載箇所 スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)
表4 1ページ	234,000円	240×170
表4 1/2ページ	127,500円	117×170
本文 1ページ	156,000円	257×182 240×170
本文 1/2ページ	85,000円	117×170
本文 1/5ページ	38,000円	48×162

※原稿は原寸大の完全原稿(ポジ・MOデータ)で入稿ください。それ以外は別途製版料が必要です。

※掲載ページの指定はできません。

※内容により掲載をお断りする場合があります。

企画・発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 ふれあいネットワーク

大阪市ボランティア・市民活動センター

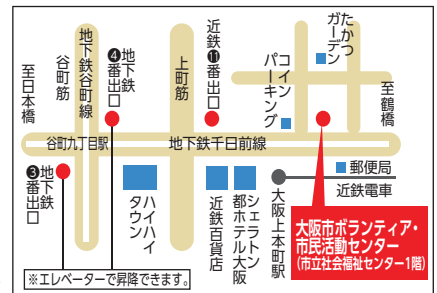
Osaka City Voluntary Action Center

所在地/〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F

TEL/ 06-6765-4041 FAX/ 06-6765-5618

E-mail/ocvic@osakacity-vnet.or.jp <http://www.osakacity-vnet.or.jp>

- 開館時間:午前9時30分～午後8時30分(月・水・金) 午前9時30分～午後5時(火・木・土)
- 休館日:日・祝・国民の休日・年末年始
- 発行日:2018年6月15日(8月と1月を除く毎月15日発行)
- 発行部数:40,000部 ●制作協力:商工印刷株式会社 ●点訳協力:NPO法人ぼこ・あ・ぼこ
- 本誌は大阪府共同募金会の助成をいただいています



「COMVO」主な設置・配布場所 ウェブサイトからもチェック可能! <http://comvo.lekumo.biz>

Osaka Metro(オオサカメトロ)(新大阪・淀屋橋・本町・なんば・天王寺・なかもず・大日・太子橋今市・天神橋筋六丁目・東梅田・天満橋・谷町九丁目・喜連瓜破・住之江公園・大阪港・堺筋本町・野田阪神・日本橋・天下茶屋・大正・蒲生四丁目・ポートタウン南 各駅)、阪神電車(梅田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区在宅サービスセンター(区社協)、大阪市役所・区役所、区民センター、クレオ大阪、大阪市内の図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商工会総連盟加盟店街、大阪シティ信用金庫府内の店舗など

●スタッフブログ <http://ocvic.blogspot.jp> ●twitter <http://twitter.com/ocvic1998> ●Facebookページ <https://www.facebook.com/ocvac>

森が戻ってきた。
鳥や虫や動物が戻ってきた。
みんなに笑顔が、戻ってきた。



再生プロジェクトを行っているバリヤン地区の小学校の児童から贈られた絵。
「わたしたちを守って!」という動物たちのメッセージをこめて、描いてくれました。

インドネシア熱帯林の再生プロジェクト

きっかけは、私たちが毎日使っている紙の原料となる木材を少しでも地球に返したいという思い。
たくさんの生き物が暮らす森を取り戻すことで地球温暖化を防ぎ、生物多様性を守ること。
そして、地元の人々の生活を助けること。
地元の子どものたちの明るい笑顔を力にして私たちは これからも、未来を育む活動をつづけていきます。



立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上火災保険株式会社 www.ms-ins.com

24区ボランティア・市民活動センター/ボランティアビューロー一覽

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

名 称	所 在 地	電話(06)	FAX(06)
北区ボランティア・市民活動センター	北区神山町15-11 いきいきネット	6313-5566	6313-2921
都島区ボランティア・市民活動センター	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504
福島区ボランティア・市民活動センター	福島区海老江6-2-22 あいあいセンター	6454-4553	6454-6331
此花区ボランティア・市民活動センター	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984
中央区ボランティア・市民活動センター	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西区ボランティア・市民活動センター	西区新町4-5-14 にしながほり	6539-8075	6539-8073
港区ボランティア・市民活動センター	港区弁天2-15-1 ひまわり	6575-1212	6575-1025
大正区ボランティア・市民活動センター	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺区ボランティア・市民活動センター	天王寺区六万休町5-26 ゆうあい	6774-3377	6774-3399
浪速区ボランティア・市民活動センター	浪速区難波中3-8-8 浪速区在宅サービスセンター	6636-6027	6636-6028
西淀川区ボランティア・市民活動センター	西淀川区千舟2-7-7 ふくふく	6478-2941	6478-2945
淀川区ボランティア・市民活動センター	淀川区三国本町2-14-3 やすらぎ	6394-2900	6394-2978
東淀川区ボランティア・市民活動センター	東淀川区菅原4-4-37 ほほえみ	6370-1630	6370-7330
東成区ボランティア・市民活動センター	東成区大今里南3-11-2 ひがしなり	6977-6336	6977-6339
生野区ボランティア・市民活動センター	生野区勝山北3-13-20 おかちやま	6712-3101	6712-3001
旭区ボランティア・市民活動センター	旭区高殿6-16-1 あさひあったかセンター	6957-2200	6957-7282
城東区ボランティア・市民活動センター	城東区中央2-11-16 ゆうゆう	6936-1153	6936-1154
鶴見区ボランティアビューロー	鶴見区諸口5-浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター	6913-7070	6913-7676
あべのボランティア活動センター	阿倍野区帝塚山1-3-8 阿倍野区在宅サービスセンター	6628-3434	6628-9393
住之江区ボランティアビューロー	住之江区御崎4-6-10 さぎなみ	6686-2234	6686-0400
住吉区ボランティア・市民活動センター	住吉区浅香1-8-47 いきいき	6607-8181	6692-8813
東住吉区ボランティア・市民活動センター	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
平野区ボランティア・市民活動センター	平野区平野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
西成区ボランティア・市民活動センター	西成区岸里1-5-20 はぎのさと	6656-0080	6656-0083